

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	水銀廃棄物の処分に係る技術的基準の検討業務費	担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～	担当課室	産業廃棄物課	産業廃棄物課長 塚本 直也				
会計区分	一般会計	施策名	4. 廃棄物リサイクル対策の推進 4-4 産業廃棄物対策(排出抑制・リサイクル・適正処理等)					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第12条第1項(産業廃棄物処理基準)等	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>現在、我が国においては、廃棄物及び鉱石中から水銀を回収し、国内での需要及び海外への輸出を行っているが、政府間交渉委員会では、製品及び工程中の水銀需要の削減、水銀の国際貿易の削減などを検討事項としており、条約履行後の輸出需要の減少などにより、回収した水銀が必要を上回り、水銀廃棄物としての処分を余儀なくされることが想定されている。</p> <p>現在処分方法が技術的に確立しているとは言い難い水銀の廃棄物の処分について、その技術的な検討を行い、条約発効後の我が国の水銀処理に支障を来さないようにする必要がある。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>① 水銀廃棄物の処分方法の技術的検討 ② 水銀廃棄物の処分方法の基準策定 ③ 水銀廃棄物の処分に係るマニュアル策定</p> <p>国内外にある水銀の安定化技術の中から、廃棄物の最終処分技術として応用した際に生ずる課題等を抽出し、これらの課題等の解決に向けた方策等の検討及びあるべき最終処分の基準の方向性について検討を行うものである。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	9	7	-	
		補正予算	-	-	0	0		
		繰越し等	-	-	0	0		
		計	-	-	9	7	-	
	執行額	-	-	11.6(再掲)				
執行率(%)	-	-	129%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	適切な処分基準等の設定により、水銀廃棄物の処理による生活環境への影響を防止する業務であるため、成果実績の数値化は困難		成果実績	百万円	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	検討委員会の開催状況		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	2	-
					(-)	(-)	(3)	(3)
単位当たりコスト	※平成24年度 5,775千円		算出根拠	※平成24年度 単位当たりコスト=11,550千円(執行額)÷2回(委員会開催回数)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	7	-	予算統合のため				
	計	7	-					

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	水銀条約発効後の国内における環境上適正な処理体制を確保する事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	総合評価落札方式により競争性は確保されている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	金属水銀の中間処理及び最終処分方法について委員会にて検討を行い、管理型最終処分場へ埋立てする際の溶出基準を満足する技術が確認できた。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—		
	事業番号	類似事業名		所管府省・部局名
点検結果	<p>請負者における業務の進捗状況を随時把握し、請負者において仕様書に基づき限られた予算内で確実にかつ効率的に業務が実施され、当初想定された成果が得られたことを確認しており、事業実施状況の把握は適切に行っている。</p> <p>水俣条約への批准に向けて、国内における金属水銀等の処分方法を確立のために最大限の成果が得られるよう効果的・効率的な執行に努める。</p>			
外部有識者の所見				
<p>水銀廃棄物の処理技術を確立することは喫緊の課題である。従って、条約の発効期日も視野に入れ、当該事業の年次別実施計画を明確にした上で、予算の計上・執行を行う必要がある。</p>				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	<p>当該事業の年次別実施計画を明確にすることにより、事業をより効率的かつ効果的に実施すること。</p>			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
廃止	<p>本事業は平成26年度新規事業「水銀条約の批准に必要な環境上適正な水銀廃棄物処理体制の整備等事業」に整理統合し、一体的に事業を効率的に実施することとする。</p>			
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年	—	平成23年	—	
		平成24年	新24-006	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
11.6百万円



【総合評価落札方式】

A.(株)エックス都市研究所
11.6百万円

- ① 水銀含有廃棄物の処理実態調査
- ② 水銀廃棄物の安定化・固形化技術に関する検討
- ③ 中間処理・最終処分に関する技術上の基準等の検討
- ④ 水銀廃棄物の環境上適正な管理に関する検討会の開催

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)エックス都市研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	統括研究員、主任研究員、研究員、研究員 助手	7.56			
諸謝金	検討会謝金(有識者5人、検討会2回)	0.14			
旅費	検討会旅費及び日当(検討会2回)	0.21			
借料及び損料	検討会会場借上料(検討会1回)	0.03			
会議費	検討会会議費	0.02			
印刷製本費	検討会資料コピー、報告書製本費	0.17			
委託費	金属水銀安定化・固形化、溶出試験等	1.64			
雇上費	アルバイト、派遣社員	0.31			
一般管理費		1.48			
計		11.6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エックス都市研究所	水銀条約化に向けた水銀廃棄物の環境上適正な管理に関する調査業務	11.6	1	96